

C-4 幼児のユニフォームについて (第1報)

——色彩嗜好分析及び性格との関連——

名古屋市立女短大 高橋 春子
岐阜県鶯谷女高 ○和田恵美子

1. 保育園、幼稚園児のユニフォームをデザインするにあたって色彩をとりあげてみた。そこで、色彩選択の要因についてみると、快追求の衝動、自我の介入、体面の維持等が考えられる。このうち幼児は快追求の衝動が大きいと思われる。しかし、色彩の選択は子供の欲求を中心にされるとはかぎらない。むしろ親、教師の意見によることが多い。そこで情緒、知能の未発達な幼児期における嗜好色の傾向、性格と嗜好色の関連を把握し、そのうえで情緒、知能の発展向上を助長するように考えたい。更に子供服デザインの創作活動への適切な方向づけをする一助としたい。

2. 名古屋市周辺の幼稚園、保育園の園児約4000名について幼児の嗜好色、性格と嗜好色の関連を調査した。性格は幼児特有の性格12項目をあげて類型化を試みた。性格の類別については直接担任の先生と面談した。なお色彩の嗜好分析は一部直接法と間接法(無意識調査)を並行して行なった。

3. 幼児の嗜好色を年齢、性別にみると、色彩嗜好及び色彩嗜好の性差は3歳でごくわずかしかみられないが、4歳から5歳とすすむにつれて顕著になる。男児は青系統を、女児は赤系統を好む傾向がみられる。これらの色彩嗜好と性格の関連については情緒型は赤系統を好み、行動型は緑を好むなどの傾向がみられ、その他にも興味ある結果をえたのでここに報告する。